令和元年度事業評価監視委員会（第2回）資料

河川事業の審議結果（一覧）【報告事項】

資料－14

NO.	県名	事業名	委員会・懇談会名	前回評価	事業評価の理由	事業期間	事業の進捗状況		総事業費（億円）		費用便益分析（B/C）※				審議結果	付帯決議
											全体事業		残事業			
							進捗率（事業費ﾍﾞｰｽ）	主要工種	前回	今回【 】は前回との差	前回	今回【 】は前回との差	前回	今回【 】は前回との差		
1	宮城	【再評価】 鳴瀬川直轄河川改修事業	○鳴瀬川水系 河川整備学識者懇談会 （令和元年12月4日 開催）	H28	社会情勢の変化	30年 （H19～R18）	51%	堤防の量的整備 堤防の質的整備 河道掘削 遊水地整備	1061	1,096 【+35】 《増減理由》 ■消費税率の見直し ■善川編入（延伸）に伴う整備延長の増	6.9	7.1 【+0.2】 《増減理由》 ■資産データの更新	8.0	9.4 【+1.4】 《増減理由》 ■資産データの更新	○事業の継続は妥当と判断する。	－
2	青森	【再評価】 高瀬川直轄河川改修事業	○高瀬川河川整備委員会 （令和元年12月2日 開催）	H28	再評価実施後一定期間が経過	30年 （H18～R17）	62%	築堤 堤防質的整備 放水路拡幅整備	59	60 【+1】 《増減理由》 ■消費税率の見直し	1.7	2.1 【+0.4】 《増減理由》 ■資産データの更新	1.2	1.7 【+0.5】 《増減理由》 ■資産データの更新	○事業の継続は妥当と判断する。	－
3	秋田	【再評価】 子吉川直轄河川改修事業	○子吉川水系 河川整備学識者懇談会 （令和元年12月2日 開催）	H28	再評価実施後一定期間が経過	30年 （H17～R16）	31%	築堤 河道掘削 堤防質的整備	330	338 【+8】 《増減理由》 ■消費税率の見直し ■危機管理ハード対策追加による増	11.0	7.6 【−3.4】 《増減理由》 ■資産データの更新 ■総事業費の増 ■便益の算定条件の見直し	2.8	1.6 【−1.2】 《増減理由》 ■資産データの更新 ■安全度向上に伴う便益の減	○事業の継続は妥当と判断する。	－
4	山形	【再評価】 最上川総合水系環境整備事業	○最上川水系流域委員会 （令和元年11月13日 開催）	H28	社会情勢の変化	35年 （H7～R11）	90%	水辺プラザ 水辺の楽校 フットパス かわまちづくり	53	57 【+4】 《増減理由》 ■消費税率の見直し ■寒河江地区かわまちづくりの追加による増	3.4	4.1 【+0.7】 《増減理由》 ■寒河江地区かわまちづくりの追加による増 ■評価手法の変更（TCM→CVM）	2.8	3.5 【+0.7】 《増減理由》 ■寒河江地区かわまちづくりの追加による増 ■評価手法の変更（TCM→CVM）	○事業の継続は妥当と判断する。	－
5	山形	【再評価】 赤川総合水系環境整備事業	○赤川水系 河川整備学識者懇談会 （令和元年11月11日 開催）	H28	社会情勢の変化	25年 （H17～R11）	74%	自然再生 かわまちづくり	18	24 【+6】 《増減理由》 ■消費税率の見直し ■鶴岡市赤川かわまちづくりの追加による増	3.6	3.7 【+0.1】 《増減理由》 ■鶴岡市赤川かわまちづくりの追加による増 ■評価手法の変更（TCM→CVM）	2.2	3.2 【+1.0】 《増減理由》 ■鶴岡市赤川かわまちづくりの追加による増 ■評価手法の変更（TCM→CVM）	○事業の継続は妥当と判断する。	－
6	青森	【再評価】 高瀬川総合水系環境整備事業	○高瀬川河川整備委員会 （令和元年12月2日 開催）	H28	再評価実施後一定期間が経過	27年 （H19～R15）	45%	水辺整備 水環境整備	59	62 【+3】 《増減理由》 ■消費税率の見直し ■水質監視機器整備等の増	3.1	1.7 【−1.4】 《増減理由》 ■支払い意思額の低下	4.7	3.8 【−0.9】 《増減理由》 ■支払い意思額の低下	○事業の継続は妥当と判断する。	－
7	山形	【事後評価】 最上川上流特定構造物改築事業 （大旦川排水機場）	○最上川水系流域委員会 （令和元年11月13日 開催）	H22	事業完了後一定期間が経過	4年 （H23～H26）	100%	排水機場改築	24	25 【+1】 《増減理由》 ■事業費を最終額に変更	6.8	6.2 【−0.6】 《増減理由》 ■資産データの更新 ■長寿命化計画策定による維持管理費の見直し	－	—	○改善措置及び今後の事業評価の必要はない。	－